

古高っ子 家庭学習のすすめ(保護者用)

平成26年度 9月

高松市立古高松小学校

本校では、「わかる」授業を行い、確かな学力の育成を図っています。

さらに、学校で学習したことを確実に身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにも、家庭学習がとても重要です。毎日、続けることで知識が定着し、子どもの確かな力となります。

そこで、このたび「古高っ子 家庭学習のすすめ」を作成いたしました。お子さんの身近なところに置き、家庭学習の参考にしていただければ幸いです。



家庭学習で子どもたちに培われる力

- 1 継続する力・・・毎日、勉強をするくせがつき、どんなことにもあきらめずに努力できる子になる
- 2 確かな学力・・・繰り返し学習することで、正しく理解し、しっかり身につき、確かな学力を定着することができる子になる
- 3 自立する力・・・自分で課題を見つけ、自分で解決できるようになり、自分で考え、自分で行動することができる子になる



家庭学習の進め方

- ① 学校から出された宿題を最初にすませる。
※休みの日は、学校からの宿題を計画的にしながら、自主学習に取り組みせましょう。
- ② 時間が余ったら、「自主勉強にチャレンジ!!」を参考に、自主勉強に取り組む。
- ③ 家庭学習が終わったら、次の日の学習活動の準備をする。

時間のめやす

10分×学年+10分程度(例 1年生…10分×1+10分=20分程度)

※ この時間をめやすに、お子さんの状況に合わせて一緒に学習時間を決めましょう。

家庭学習の効果を上げるポイント

家族からの「ほめ言葉」は、学習のうえでパワーの源です。

いつもご家庭での温かい言葉かけをありがとうございます。子どもたちは、ほめられることによって、やる気スイッチがONになり、自分から学習を進める意欲が湧いてきます。お子さんのがんばりをしっかりと認め、できていないところは少しずつアドバイスをしながら一緒に取り組むなど、しっかり励ましてください。